

**製品名: GRB2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11752**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRB2
別名	GRB2; ASH; Growth factor receptor-bound protein 2; Adapter protein GRB2; Protein Ash; SH2/SH3 adapter GRB2
遺伝子 ID	2885.0
SwissProt ID	P62993
免疫原	抗血清はヒト GRB2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

**背景**

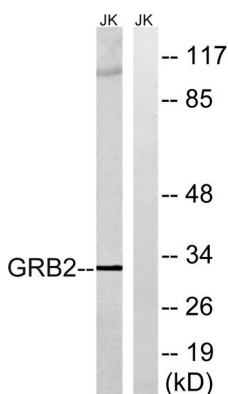
この遺伝子によってコードされるタンパク質は上皮成長因子受容体に結合し、1つのSH2ドメインと2つのSH3ドメインを含む。2

つのSH3ドメインは、他のタンパク質のプロリンリッチ領域との複合体形成を誘導し、SH2ドメインはチロシンリン酸化配列に結合します。この遺伝子は、シグナル伝達経路に關与する *C.elegans* の Sem5 遺伝子と類似しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、代替製品：追加のアイソフォームが存在するようです、ドメイン：SH3ドメインは、RALGPS1 および SHB との相互作用を媒介します。機能：細胞表面成長因子受容体と Ras シグナル伝達経路の間に重要なリンクを提供するアダプタータンパク質。機能：アイソフォーム GRB3-3 は、リン酸化上皮成長因子受容体 (EGFR) には結合しませんが、EGF 誘導性の RAS 応答性エレメントの転写活性化を阻害します。アイソフォーム GRB3-3 は GRB2 に対して優性負性タンパク質として作用し、増殖シグナルを抑制することによって、能動的なプログラム細胞死を誘発する可能性があります。類似性:GRB2/sem-5/DRK ファミリーに属します。類似性:1つのSH2ドメインを含みます。類似性:2つのSH3ドメインを含みます。サブユニット:SH2ドメインを介して、活性化 Tyr リン酸化 EGF 受容体および PDGF 受容体と関連します。また、SIT1、IRS1、IRS4、SHC、LNK などの他の細胞 Tyr リン酸化タンパク質とも関連します。おそらく、SH2ドメインとSH3ドメインの両方の協調作用を介してです。また、DNA合成につながるシグナル伝達経路で RAS と相互作用するようです。グアニンヌクレオチド交換因子 SOS に結合して転座します。リン酸化 TOM1L1 および MET と相互作用します。SH2B2 のリン酸化 C 末端と相互作用します。TCR および/または BCR の活性化時にリン酸化 SIT1、LAX1、LAT、LAT2、および LIME1 と相互作用します。NISCH、PTPNS1、REPS2、およびシントロフィン SNTA1 と相互作用します。SH3ドメインを介して REPS1 および PIK3C2B と相互作用します (類似性による)。SH3ドメインを介して HCV NS5A と相互作用します。CBL および CBLB と相互作用します。JUB および CLNK と相互作用します (類似性による)。SHB、INPP5D/SHIP1、SKAP1、および SKAP2 と相互作用します。SH3ドメインと SOS1、および SH2ドメインとリン酸化 MUC1 との相互作用を介して、MUC1 および SOS1 と複合体を形成します。PRNP と相互作用します (類似性による)。RALGPS1 および HCST と相互作用します GAPT と相互作用します。

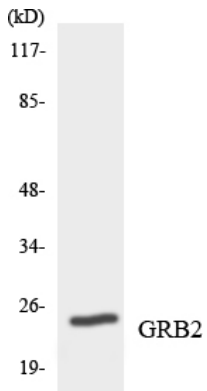
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;ErbB\_HER;ケモカイン;背腹軸形成;焦点接着;ギャップ結合;Jak\_STAT;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;T細胞受容体;B細胞抗原;FcイプシロンRI;神経栄養因子;インスリン受容体;GnRH;がんにおける経路;結腸直腸がん;腎細胞がん;子宮内膜がん;神経膠腫;前立腺がん;慢性骨髄性白血病;急性骨髄性白血病;非小細胞肺がん;

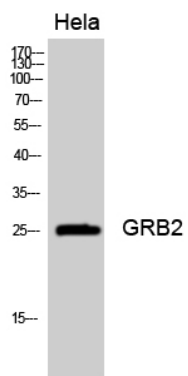
## 画像データ



GRB2抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



GRB2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



GRB2 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた Hela 細胞のウェスタンブロット解析